

防災・避難対策マニュアル 2017

平成29年12月

大分県教育委員会

はじめに

大分県教育委員会では、平成23年3月11日の東日本大震災という未曾有の災害を契機に、南海トラフ巨大地震による津波発生を想定した「防災・避難対策マニュアル」を同年9月に発刊しました。

この「防災・避難対策マニュアル」のうち防災教育に関する部分については、本年5月に「学校における防災教育の手引き」を新たに作成しました。

この手引きでは、児童生徒の発達段階に応じて防災教育の取組を体系的に整理するとともに、県内の先進的な取組事例を多数紹介しております。

これに引き続き「防災・避難対策マニュアル」の防災対策に関する部分について全面的に改訂を行い、このたび「防災・避難対策マニュアル2017」を作成いたしました。

本マニュアルでは、平成24年7月九州北部豪雨、平成28年(2016年)熊本地震、そして平成29年7月九州北部豪雨と平成29年台風18号の浸水被害などを踏まえ、地震・津波以外の水害・土砂災害など様々な自然災害に関しても、避難方法や事前の対策について、児童生徒の生活場面を想定して具体的に記述しています。

また、学校における平常時からの組織的な減災に向けた取組や地域との連携の方法などについても、これまでのモデル事業の研究成果を参考に、より詳しく説明しています。

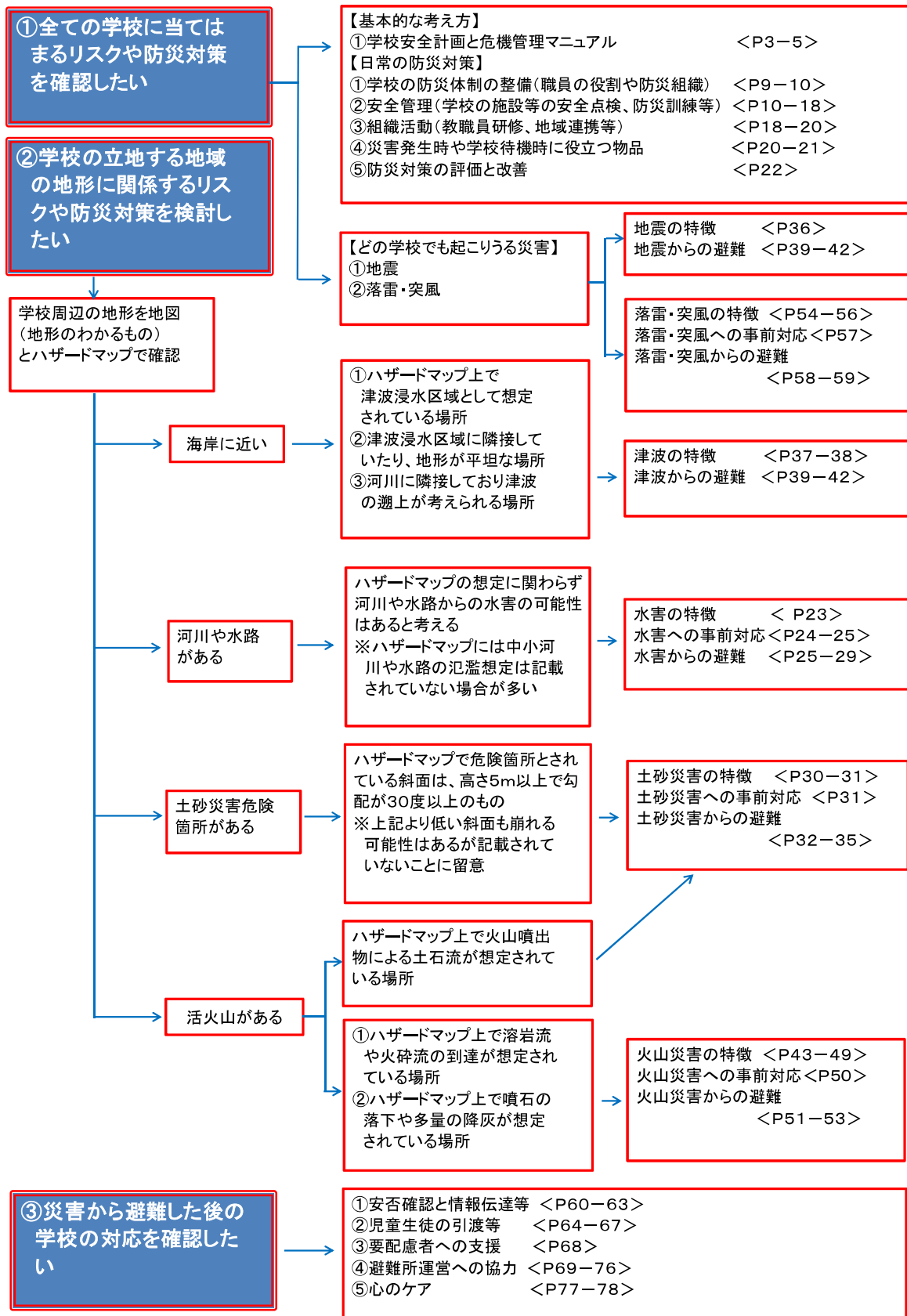
各学校において地域の実情に応じた実践的な防災対策を行うため、学校の危機管理マニュアルの作成や教職員研修、避難訓練の計画、児童生徒への安全指導にあたり、本マニュアルを積極的にご活用願います。

平成29年12月

大分県教育委員会教育長
工藤 利明

「防災・避難対策マニュアル2017」の活用について（1）

学校の立地条件をフローチャートでたどれば掲載しているページが分かります。



「防災・避難対策マニュアル2017」の活用について（2）

具体例

1 学校の防災対策の基本	
学校の防災対策（安全対策）について法令の根拠等を踏まえて体系的に知りたい	第1章 p 1-6
学校の危機管理マニュアルの災害対策の部分には、どのような項目を記載したらよいか？	第1章 p 4-8
2 平常時の防災対策について	
学校において、誰がどのようにして防災対策を考え、実施していくのか？	第2章 p 9
学校の安全点検の留意点を知りたい	第2章 p 11-13
通学路などの安全についての留意点を知りたい	第2章 p 13-15
防災訓練がマンネリ化しており、改善したい	第2章 p 15-18
地域と連携した防災対策の具体例を知りたい	第2章 p 19
災害に備えて、どんな物資を備蓄したらよいか？	第2章 p 20-21
3 災害発生時の避難方法について	
災害の種類に応じた具体的な避難方法を知りたい	第3章 p 23-59
水害の特徴と危険な箇所を知りたい	第3章 p 23
土砂災害と水害の対応の違いがわからない	第3章 p 30-35
登下校中に地震があった場合の対応を児童生徒に指導したい	第3章 p 40
火山の噴火警戒レベルに応じた対応を検討したい	第3章 p 50-51
4 避難後の対応について	
通信が混雑している場合の安否確認方法を知りたい	第4章 p 61-62
児童生徒の保護者への引渡についての留意点を知りたい	第4章 p 64-67
障がいのある児童生徒が災害に遭った場合の対応を知りたい	第4章 p 68
避難所開設の具体的手順を知りたい	第4章 p 69-76
市町村防災担当者と学校が事前に打ち合わせておくべき事項は何か	第4章 p 70
学校施設を避難所として開放する範囲やレイアウトの事例を知りたい	第4章 p 72-75
児童生徒の心のケアの流れを知りたい	第4章 p 77-78

防災・避難対策マニュアル2017 目次

はじめに

1 基本的な考え方

学校安全と防災対策	1
学校安全計画と危機管理マニュアルについて	3
災害リスクの想定について	6

2 日常の防災対策

学校の防災体制の整備	9
安全管理による減災	10
組織活動による減災	18
災害発生時や校内待機時に役立つ物品	20
防災対策の評価と改善	22

3 災害発生時の避難方法

水害	23
土砂災害	30
地震・津波	36
火山災害	43
落雷・突風	54

4 避難後の対応

安否確認と情報伝達	60
災害対策本部の設置	63
児童生徒の保護者への引渡と待機	64
要配慮者への支援	68
避難所運営への協力	69
心のケア	77

5 参考資料

弾道ミサイル発射時の対応	79
県民安全・安心メールの登録方法	83
県内各市町村の防災担当部署一覧	84